



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～胃腸炎について～

胃腸炎は毎冬流行するもので、今シーズンも相変わらず流行しています。胃腸炎といっても、罹る人の状態によって軽くも重くもなります。ちょっと吐き気だけで終わる人もいれば、嘔吐や下痢を繰り返して脱水症を起こしてしまう人、下痢のみで終わる人もいます。特に乳児では、嘔吐と下痢によって脱水症を起こしてしまうことが多いので注意が必要です。脱水症にならないよう、上手に水分補給を行うことが大切です。病気の時は、栄養摂取よりも脱水にならないようにすることが優先されます。あんずだより特別号バックナンバーで「吐いた時」「下痢の時」の対応を特集しておりますので、ご参照ください。

～新型コロナウイルス・オミクロン株について～

日本国政府は3月6日までとされていた蔓延防止等重点措置を2～3週間延長することを検討しています。オミクロン株のBA.2に関しては、既にヨーロッパで流行していますが、イギリスではBA.1よりも入院リスクは低いと報告されています。感染力が強いと言われていますが、感染力が強いからといって重症化している訳ではありません。無症状や軽症であればあるほど、つまり弱毒化すればするほどウイルスの感染力は強くなっていく傾向にあります。

～新型コロナワクチン副反応について～

3月になって5～11歳の子どもに対する新型コロナワクチン接種が始まりましたが、これは努力義務ではありません。安全性やオミクロン株に対する有効性については未だ不明です。新型コロナウィルスに感染してもほぼ重篤化しない小児では、ワクチン接種について慎重に判断したいところです。

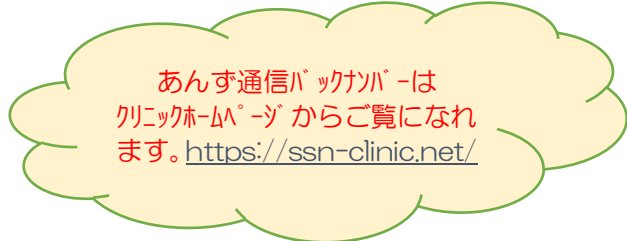
厚労省から2月18日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係は不明ですが累計1474人（うち10代が6人）の方が死亡、重篤副反応は6454人（うち10代が398人）でした。これらの副反応報告は厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

文責：清水マリ子

表：2月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎(内/外2)	79
2	溶連菌	52
3	新型コロナ	26
4	水ぼうそう	1
4	突発性発疹	1
4	伝染性膿痂疹(とびひ)	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。



～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

